

このために必要となる機械等の施設整備を支援する

(3) 県負担・補助率の考え方

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金：国補1/2 事業者1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,200	
合計	7,200	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、(1) 森林づくりの推進で苗木生産量の目標数値を設定している。

(2) 事業主体及びその妥当性

①事業主体：林業種苗法第10条に基づき知事が登録した苗木生産者

妥当性：林業用種苗の生産者としての資格を有しており妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

令和7年度3月補正予算

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年までに、品質の良い苗木200万本の生産を目指し、県内の需要はもとより、県外への出荷も視野に入れた苗木供給体制をつくる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①苗木生産本数 (万本)	18	79	83	170	200	55%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	品質の良い苗木生産量の増大に向けて、各生産者が苗木生産に取り組んでいる。令和3年度に施設整備等を実施した生産者については、増設した施設を活用しさらに苗木生産量を増大させるため、幼苗の生産等に取り組んでいる。
	指標① 目標：90万本 実績：80万本 達成率：89 %
令和5年度	品質の良い苗木生産量の増大に向けて、各生産者が苗木生産に取り組んでいる。令和3年度に施設整備等を実施した生産者については、増設した施設を活用しさらに苗木生産量を増大させるため、幼苗の生産等に取り組んでいる。
	指標① 目標：120万本 実績：79万本 達成率：66 %
令和6年度	品質の良い苗木生産量の増大に向けて、各生産者が苗木生産に取り組んでいる。令和5年度には4生産者が施設を導入し、苗木生産の増大及び品質の向上に向けて効率的な苗木生産体制の整備を行った。
	指標① 目標：150万本 実績：83万本 達成率：55 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	森林資源の高齢級化が進み、森林資源の若返りの為にも、再生林の重要性は増している。確実な再生林のためにも、再生林に必要な優良な苗木を確保することは必要不可欠であり、豊かな森づくりにも資するものである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	事業開始前と比較して苗木生産本数が増大しており、安定的な苗木供給体制が図られつつある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	苗木生産者が国補助事業を活用して整備するものであり、効率的な実施が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 低コストで品質の良い苗木をつくるため、新しい育苗技術であるコンテナ苗により取り組むこととしているが、設備投資に多額の費用がかかることが問題となっている。また、苗木生産は播種から出荷まで2～3年の時間がかかるため、将来の需要を見越した生産が必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 再生林のニーズの高まりに應えるために、将来の需要を見越した苗木の生産体制の整備が必要である。品質の良い苗木生産に取り組むことにより実績を積み重ね、林業関係者の信頼を築き、安定した苗木生産供給体制をつくる必要があると考える。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】